

組織宣傳部報告

◇組織運動一般情勢——昭和三年度に於ける我が國勞働組合の組織運動の一般的情勢は、田中反動内閣の彈壓政策と金融恐慌後の一時的經濟的小康の道程に於ける資本の攻勢や不景氣の深刻化等のために著るしく阻害されてゐる。特に又舊勞働組合評議會の解散や未だ整理統一の緒に就かざる勞働組合職線の分裂狀態等は相俟つて益々未組織大衆獲得を困難ならしめつゝある。一方又政治運動への積極的進出に伴ひ勞働組合の勢力を著るしく選舉その他の政治鬭争に放出され、いつれの勞農組合に於いても著るしく財政上並に組織上の疲弊を受けたことは事實である。だが、この情勢の結果は他面に於いて、勞働組合の組織充實の要求を喚起し各組合ともその組織の充實努力に努力し來つてゐる。

然し之を我が組合同盟に就いて見れば一面に於いては上述の如き一般情勢の影響をうけつゝあるが、昨年度大會以來勞働組合の確立に努め來つた結果は、着々とその効果をあげつゝある。即ち従來の各加盟組合の經營並に擴大充實、神奈川高知、關西地方に於ける新組合の創立等を著るしく組織運動に於ける効果をあげ、更に又各加盟組合の再組織や産業別整理並に地方聯合會の確立等に於いても多大の効果をあげつゝある。他方又之を友誼團體との關係に於いて見れば、日本大

労働組合の組織運動の親密化、並に又一般の統一的な方向に進みつつある。

之を要するに我が組合同盟の過去一ケ年間の組織上の努力は、未組織大衆の組織化や組合内部組織の統一充實及び友誼團體との關係に於いて多大の効果をあげ來つたのである。

◇新組合設立と地方聯合會の確立

(一) 東京地方聯合會の確立——は従來屢々叫ばれたが諸種の事情により充分なる成績を挙げなかつたが、最近に至り東京地方の組織運動の進展等のために漸く確立を見るに至つた。昭和三年度を通じて組織及び整理されて出來た新組合は左の通りである。

イ、東洋モス術業員組合——は舊日本紡織城東支部が獨立して日本紡織より分離し一時同盟本部直屬となり組織部を中心し再組織を進め附帯を固めた。昭和三年六月一日設立。日本運輸労働組合は舊關東合同の運輸關係各支部を産業別に整理し昭和三年十月廿九日創立された。

ハ、關東製材従業員會は舊評議會深川本場に於ける關東木材労働組合關係者を叫び合して昭和三年末に創立されたが昭和四年一月十三日正式に組合同盟に加盟した。

ニ、東京水揚労働組合は昭和四年六月一日町村會選舉を動機として組織された。

ホ、東京聯合自動車現業員會は従來友誼團體として政治運動並に一般運動に於いて協力し來つたが昭和四年九月十一